

マイスターだより

川西町立小松小学校
令和7年11月4日（火）
文責：情野 夏美

愛知県春日井市立出川小学校に行ってきました！

先日、令和4～7年度文部科学省指定研究開発学校（4年次）の愛知県春日井市立出川小学校の研究開発学校研究発表会に参加してきました。研修内容をご報告・共有させていただきます。内容がかなり多くなっていますが、ぜひ最後までお読みください。後ほど、指導案や資料、私のメモ（かなり乱雑ですが…）を回覧しますので、そちらもご覧ください。なお、授業の様子や掲示物等の写真撮影ができず、全体会のスライドの写真を載せています。

研究開発課題

これからの時代の学習基盤となる資質・能力の育成に向けた教育課程及び指導方法について、情報活用能力を育成する「情報の時間」の創設

1、研究の概要・パネルディスカッション①（研究の説明）より

学校として“自律した学習者”の育成

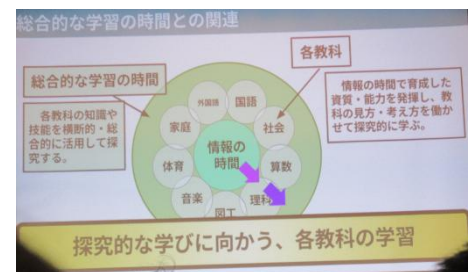
出川小の取り組み

- “情報活用能力” 調べて、まとめて、伝える力
- 「情報の時間」 年間35時間 週1時間 を創設
1～6年生までカリキュラムを立てて指導している。
大切にしていること①使用する目的をくり返し伝える
②できるを目指す
③各教科で発揮させる

個人探求へつなげている

どの先生での指導できるように大切にしてきたこと

→目的の共有・教育課程・教材の蓄積・これまでの児童の学び



2、児童セッションより 6年生4名の児童が「情報の時間で成長したこと」を発表

Aさん→自分たちで取り組むことが増えた

Bさん→他の教科につながる

Cさん→たくさんの根拠をもとに、自分で考えることができるようになった

Dさん→シンキングサイクル（課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現）で迷わず、分かりやすい資料作りができるようになった

★スライドの資料を使って分かりやすく堂々と説明してくれました。

Q1 自分で学習を進めることが楽しいですか？

ABCさん→楽しい Dさん→楽しいが、先生に課題を決めてもらった方がいい

Q2 生成AIを使っていますか？その際、気を付けていることはありますか？

Aさん→社会の成果物を作る際に、歴史的間違いがないかチェックしてもらう。

Bさん→資料作りを手伝ってもらっている。

Cさん→個人情報を使わないようにしている。

Dさん→情報をうのみにしないようにしている。

★生成 AI は答えを教えてくれるものではなく、手伝ってくれるものとして認識しているところに感心しました。

Q3「情報の時間」のよさを一言で！

ACさん→将来のため

Bさん→どんな場面でも使える

Dさん→自分で学習が進められる

3、5年1組「情報の時間」の参観 ※1時間参観しました。

【単元のめあて】 プログラミングを活用して、図形を描こう。（全3時間）

【本時のめあて】 これまでに学んだことを生かして意図した図形を描こう。
（3時間目）

【授業の流れ】

- ①「情報の時間」についての考えをチャットに記入
- ②10種類の図形から選んで、スクラッチで描く。
- ③AIについて思うことをチャットに記入。
- ④AIについての動画を見て、感想を随時チャットに記入。
- ⑤次単元の内容について触れる。（AIレジ制作）

【授業を参観した感想】

- ・タイピングが早い。
- ・自然と児童同士が協力し合って問題を解決している。交流している。
- ・算数の学習につながっている。
- ・児童の情報モラルがある。
- ・先生が公用のスマホを持っていて、随時児童のチャットを見ることができる。
- ・余計な操作をしている子がないので、先生の話すことに無駄がない。
「こっち見て」「触らないよ」が一切なかった。

4、5年生国語科「固有種が教えてくれること／自然環境を守るために」の参観

※10分くらいずつ3クラスを参観しました。

【授業内容】全10時間扱い

1組→7時間目 統計資料を読み、自分の考えをもつ。

2組→1時間目 教材文を読み、学習課題を設定する。単元の見通しを持つ。

3組→4時間目 統計資料から読み取ったことを伝え合う。

【授業を参観した感想】

- ・どのクラスの授業でも、シンキングサイクル（課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現）が入っていた。
- ・統計資料から必要な情報を読み取るために、読み取るポイントが示されていた。
- ・タブレットはどの授業でも使っていた。
- ・ノートは使っておらず、教科書に書き込んだり、スプレッドシート（全員の考えを共有できるシート）に打ち込んだりしていた。チャットの随時使用。
- ・考えを書かせたら、すぐに交流という流れがあった。
- ・単元の目標を児童と共有してから学習に入っていた。

5、1年生「かたちづくり」の参観 ※ラスト15分で3クラスを参観しました。

【授業内容】

3クラスともに「色板を並び替えて、形をつくる」授業

色板を①ずらす（スライド）②まわす（くるりん）③かえす（ぱたん）の操作をして、写真をとる。シートに張り付ける。どの操作をしたか、付箋に書く。

活動後、写真を見せてどの操作を行ったかのクイズを出し合う。

【授業を参観した感想】

- ・1年生のシンキングサイクルは、めあて→あつめる→せいりする→まとめるという表現であった。どのクラスもすべて1時間の授業の中に組み込まれていた。
- ・くるりん、ぱたんなど、1年生が分かりやすい表現がいいなと感じた。
- ・個人活動の場面でも、分からない子は聞いたり、得意な子は教えたりする姿が見られた。
- ・付箋の字は、手書きで書いたものが、入力された字に変換されるようであった？
- ・最後の振り返りはノートに記入していた。

6、パネルディスカッション②より 3名の先生によるディスカッション

【出川小について】

- ・出川小児童→学びに向かう姿勢が前向きである。
- ・授業中誰も遊んでいない
→授業以前に、当たり前のことを当たり前に行っている。環境が整っている。
できない学級は、担任が譲ってしまい、緩さが出る。
そうきん、靴、ロッカー、机の上、ごみ一つ落ちていない など



- ・先生のきちんとしたいい発問
- ・一人一人をよくみた机間指導
- ・途中で集団を整える
- ・机間指導しながら全体指示

【高森台中について】

- ・高森台中生徒→自ら学び続ける姿がある
 - ・子どもを見る目、授業を見る目を持つ
 - ・アナログ VS デジタルではない
 - ・自分で考えなおす、自分で考える時間を増やす、共有する時間を増やすことが大切。
- ★サポートマガジン「みるみる」の紹介→誰一人取り残さない授業を。

7、パネルディスカッション③より 堀田先生の講評

- 体験的、探究的学びも大切にしていく。
- 学習の目標を持たせる。
- 今日の授業で何をするのかを明確にする。
- 教師の役割を考える。
もちろん教えることであるが…見取る、応援する、助言、導く、正す
深い学びにするために…深い教材研究と卓越した授業力を。
- デジタルとの付き合い方→ルールを伝えていく（改善していく）
- 学習でも、生活でも基礎基本はおろそかにしない。

8、全体を通して

- 指導案の内容が精選されている。
- 授業以前に、学習規律や生活のルールなどが徹底されている。
- 学校全体で取り組んでいることが多い。
- ICT タイムの在り方を見直していく必要があると思った。
カリキュラムを立てるなど。